

# 哲 學 研 究

第 二 十 四 卷 第 一 冊

第 二 百 七 十 四 號

昭 和 十 四 年 一 月 一 日 發 行

普通學としての數學の成立

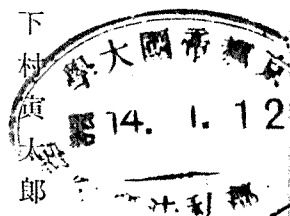
……  
文學士 下村寅太郎

世界像のトポロギー試論

……  
文學士 上井虎賀壽

疑へないもの

……  
文學士 山田次郎



京 都 帝 國 大 學 文 學 部 內 部

京 都 哲 學 會



## 前 號 目 次

アリストテレスに於ける認識論的思想の發展(承前)……商學士 藤井義夫	マクス・シエラーの政策論と政治論(承前)……文學士 田中 熙	行爲と論理……(承前)……文學士 島 芳夫
------------------------------------	--------------------------------	-----------------------



# 人格と人類性

東京帝大教授・文博  
和辻哲郎著

菊判縦組二二六頁  
布裝上製函入  
定價一・五〇送料二一

## 新刊

和辻倫理學は今や、日本に於ける最初の獨創的な學的倫理學體系として、その體系を完成しようとしてゐる。本書はその體系の書たる「倫理學」上卷の補説としての意味をもつものである。ここでは著者はカントやシェーラーやリットやブルンナーやゴッタルテンやローゼンベルクなど、昔の、今の、諸學者の中に先づ深い理解をもつて入り込み、そこから問題を掴み出し、それを自己の問題として原著者と對質してゐる。この著者が、天才的直觀の人たる半面、周到綿密な書齋の研究の人である、往々にしてこの著者について看過される點が、ここではよく示されてゐる。

內容概略 カントに於ける「人格」と「人類性」 人間存在考察の出發點について 實質的價值倫理學の構想 辯證法的神學と國家の倫理 佛教哲學に於ける「法」の概念と空の辯證法

和辻哲郎著  
風土人間學的考察 菊判 二・五〇  
四二四 三三三  
人間の學としての倫理學 岩波 八・〇〇  
全書 〇九  
倫理學 上卷 菊判 三・〇〇  
四五二 三三三  
面とペルソナ 四六判 一・六〇  
三〇六 二二

(大正五年四月六日)昭和十三年十二月二十五日印刷納本(毎月一回) 哲學研究 第二百七十四號 定價金四拾五錢 郵税金五厘  
(第三種郵便物認可)昭和十四年一月一日發行(一日發行)

東京 神田 岩波書店 振替 二六二 東京 〇四